

経済概況

金融政策声明 — 2025年8月

2025年8月20日(水)

「金融政策委員会は本日、政策金利(OCR)を25ベースポイント引き下げ3.00%とすることで合意に達した。」

注目すべきポイントは…

「ニュージーランドの景気回復のペースに関するさらなるデータが、OCRの今後の動向に影響を与えるだろう。中期的なインフレ圧力が予想通り緩和を続けられれば、OCRをさらに引き下げる余地がある。」

しかし、声明は依然として続く不確定要素を指摘

「経済見直しには上振れリスクと下振れリスクが存在する。家計や企業の慎重な行動が、経済成長をさらに鈍らせる可能性がある。一方、金利引き下げの効果が経済全体に波及し、景気回復が加速する可能性もある。」

結局のところ、引き下げに向かっていることは明らか

「委員会は、OCRを3.25%に据え置く、0.25%引き下げ3.00%にする、0.50%引き下げ2.75%にする、という3つの政策オプションについて議論した。」

RBNZはインフレ率の急上昇を予測しているにも関わらず

「消費者物価指数(CPI)の上昇率は、9月四半期に3.0%まで急上昇すると見込まれており、これは管理価格、食品価格、およびその他の貿易品目・サービスの価格の大幅な上昇を反映したものである。」

まとめと…

「委員会は、OCRを0.25%引き下げるか、0.50%引き下げるかの二択で採決を取った。委員会は4対2の多数決でOCRを0.25%引き下げ3.00%とすることに合意した。」

…つまり、0.50%の引き下げを支持した委員が2名もいたのです。

コメント:

声明はバランスの取れた見通しを強調しようとしたものの、2名の委員が0.50%の引き下げに賛成したこと、RBNZがOCRの予測を下方修正(下限を2.5%に設定)したことは、市場参加者の多くが予想していたよりも、委員の姿勢がよりハト派的であることを示唆しています。興味深いことに、将来の見通しでもOCRは中期的に2.8%水準までしか上昇しないと予想されており、5月に予想されていた3.1%には達しない見込みです。

また、RBNZは成長見通しを縮小し、第2四半期の成長率予測を0.3%から-0.3%に下方修正した一方、第3四半期のインフレ率予測は0.8%から0.9%に引き上げ、年率3.0%となる見通しを示しました。ざっくりとまとめると、RBNZの予測はすべてやや悪化しており、これにはたいいていの企業や家計が共感できることでしょう。

最終的には、質疑応答で総裁からより明確な説明を聞くこととなりますが、前総裁の曖昧な解釈とは対照的に、広範な経済の動向と一致する声明が示されたことは新鮮な印象を受けます。

マーケットへの影響:

より悲観的な見通しと2名の委員の明確なハト派的姿勢により、NZドルは持続的な売り圧力を受け、NZD/USDは0.5890から0.5825まで下落しました。一方、NZD/AUDは0.9100レベルを割り込み、0.9050付近で取引されました。こうした動きはすべてのクロス通貨ペアで同様の展開を示し、NZD/EURは今後数時間のうちに15年ぶりの安値に達する見込みです。

ニュージーランドのスワップ金利も急落しました。2年物スワップは現在0.16%低下し、3年物は0.15%低下しています。一方、長期のスワップは低下しているものの、利回り曲線のスティープ化傾向が続く中、0.10%の低下に留まっています。今年残り2回の金融政策会議(10月8日と11月26日)においてOCRがさらに引き下げられる可能性は高いと言えるでしょう。

* 日本語翻訳文と英語の原文に相違がある場合には、原文の記載事項を優先します。



BANCORP

BANCORP TREASURY SERVICES LIMITED

Barrington
TREASURY SERVICES

Barrington
ASSET CONSULTING



BANCORP

BANCORP CORPORATE FINANCE LIMITED